

## カンキツの高接更新技術の改善に関する研究

### 第3報 早生温州の高接樹果実の品質

下大迫三徳・栗山隆明・吉田 守 (福岡県農業総合試験場)

SHIMOŌSAKO, M., T. KURIYAMA and M. YOSHIDA : Studies on Improvement of Top-Warking on Citrus Tree as a Method of Variety Renovation. 3. Fruit Quality of Early Maturing Satsuma Mandarin on the Top-Warking

高接更新により結実した早生温州の果実品質と、従来のカラタチ台木を使用して苗木から育成したものに結実した果実の品質を調査し、高接更新による有望品種への切換えが有利であるかどうかについて検討をおこなった。

#### 1. 試験方法

供試品種は、県内の北口早生、石塚早生、興津早生、及び今後有望な2~3の極早生について、9月下旬~11月にかけて、現地より果実を採取して調査した。高接樹の中間台木は、普通温州12~23年生で、高接後3~4年目の果実について調査した。

#### 2. 結果及び考察

1) 高接樹は樹勢、結実性ともに良好であり、カラタチ台と比較して差異は認められなかった。

2) 着色は、いずれの品種とも、高接更新により結実した果実が早くなる傾向があり、苗木育成からの果実に比べて、7日~20日程度早くなった。

3) 果形は、いずれの品種とも、高接更新により結実した果実の果形指数が高くなっており、扁平な果実になりやすいことが認められた。

また、果皮の厚さも高接更新の果実でうすくなることが認められた。さらに、高接更新により結実した果実の果面は、結実初年目においても滑かとなり、外観が美しくなる傾向が認められた。

4) 高接樹の果実は、可溶性固形物、全糖が苗木育成からのカラタチ台果実に比べて高く、かたや、クエン酸の消失は早くなった。したがって、甘味比が高く、食べやすい果実になることが認められた。

5) 以上のことから、高接更新により結実した果実は着色が早く、果形は扁平となる傾向があり、果皮はうすくできあがり、果面も滑かで外観品質がすぐれていた。

また、内容品質では、可溶性固形物、全糖が高くなっており、クエン酸の消失が早いことから、甘味比が高くなっており、消費者向きの品質生産という点からも、苗木育成のカラタチ台のものよりすぐれていることが認められた。

したがって、有望な早生温州品種への切換えには、カラタチ台に接木する苗木からの育成よりも、現存する品質不良の温州等を中間台木として利用した高接による更新の方法が、品質的にもすぐれており、有利なことが判明した。

第1表 高接更新樹の樹性と結実性

穂木品種	中間台木	中間台木の樹令	高接後の年数	ゆ合状態	樹勢	結実性
北口早生	普通温州	12	3	良好	良好	多
9.19	—	6	—	〃	〃	〃
極早生-A	普通温州	16	3	良好	良好	多
9.22	—	8	—	〃	〃	〃
極早生-B	普通温州	13	3	良好	良好	多
9.22	—	38	—	〃	〃	〃
興津早生	普通温州	23	3	良好	良好	多
11.18	—	23	—	〃	〃	〃

第2表 高接更新樹果実の外観及び内容品質

(早生温州) 1980

穂木品種	中間台木	中間台木の樹令	接木後の年数	着色	果形指数	果皮の厚さ	可溶性固形物	クエン酸	甘味比	採取月日
北口早生	普通温州	12	3	1.5	127	2.2mm	9.7g	1.55g	6.5	9.19
〃	—	6	—	0.8	121	2.8	10.1	1.72	5.9	〃
極早生-A	普通温州	16	3	2.2	134	2.6	8.7	1.34	6.5	9.22
〃	—	8	—	0.6	123	3.4	8.1	1.61	5.0	〃
極早生-B	普通温州	13	4	1.0	127	2.1	10.0	1.62	6.2	9.22
〃	—	38	—	0.8	127	2.1	8.9	1.83	4.9	〃
興津早生	普通温州	23	3	10	136	2.8	12.9	1.14	11.3	11.18
〃	—	23	—	10	126	3.2	11.6	1.20	9.6	〃